

静岡県産業人材確保・育成プランの評価（産業編）

現プラン産業編の数値目標は13指標のうち、4指標が「◎」4指標が「○」となり、約3分の2が目標達成に向けて順調に推移している。

【農業】

農業において、農業後継者の就農の減少等により、新規就農者数は平成29年度から令和元年度までの3年連続で300人を下回っており、新たな担い手の確保・育成に向けた取組を強化していく必要がある。

今後は、新規就農者の初期投資の軽減やシニア世代の雇用就農者の雇用支援、実践研修の受入体制の充実、第三者経営継承による就農希望者の受入等により農業就業者の参入支援策を強化するとともに、農林環境専門職大学における人材育成を推進する。

【林業】

林業において、木材生産における労働生産性の向上は目標を下回っており、これまでの利用間伐を中心に進めてきた木材生産では、これ以上の生産性向上は困難であることから、収益性の高い主伐・再造林を促進する。

【水産業】

水産業において、新規漁業就業者数が基準値を下回っている要因として、本県沿岸漁業の複数魚種で不漁が継続しており、特にキンメダイ等の沿岸一本釣りや採貝・採藻漁業への新規就業者数が減少している。

今後は、より適切な水産資源管理の実施による漁獲量の回復を目指すとともに、漁業高等学園卒業者の県内経営体への定着強化を継続する。

【運輸業】

運輸業において、ハローワークにおける運輸業・郵便業就職者数は目標を下回っており、より労働局と連携した就業マッチング機会の充実を図るなど人材確保を推進する。

【建設業・観光・医療・福祉】

建設業、観光及び医療・福祉分野においては概ね計画どおり推移している。

産業人材確保・育成プラン 数値目標の進捗・評価【産業編】

産業分野	数値目標	基準値 (2016年度)	2019年度	2020年度	目標値 (2021年度)	評価
農業	新規農業就業者数	334人/年	299人/年	291人/年 (速報)	340人/年	△
林業	木材生産における労働生産性	3.8 m ³ /人日	4.1 m ³ /人日	4.2 m ³ /人日	5.6 m ³ /人日	△
水産業	漁業高等学園卒業後の漁業就業者数	15人	25人	16人	毎年度 15人	○
	新規漁業就業者数	78人	60人	57人	毎年度 75人以上	△
建設業	ICTを導入した建設企業者数 (県発注工事受注企業者数)	(2016年度まで) 累計12社	累計120社	累計179社	累計100社	◎
商工業	静岡新産業集積クラスターによる高度産業人材育成数	(2013～2016度) 累計384人	101人 累計210人	150人 累計360人	(2018～2021度) 累計412人	◎
	県内出身大学生のUターン就職率	39.1%	35.3%	2021年12月 公表予定	43%	2019年評価 △
運輸業	ハローワークにおける運輸業・郵便業就職者数 (新規学卒及びパートタイムを除く)	2,432人	1,884人	1,515人	2,600人	2019年評価 △
観光	観光人材育成研修会参加者数	(2016年度まで) 累計5,885人	9,596人	10,618人	累計10,000人	◎
医療・福祉	人口10万人当たり医師数	(2016年12月) 200.8人	— (2018年 210.2人)	2021年12月 公表予定	217人	2018年評価 ◎
	人口10万人当たり看護職員数	(2016年12月) 976.8人	— (2018年 1,028.4人)	2021年12月 公表予定	1,080人	2018年評価 ○
	介護職員数	(2015年度) 50,030人	55,832人	2022年 公表予定	(2020年度) 59,493人	2019年評価 ○
	認定こども園・保育所等の保育教諭・保育士数	(2017年度) 12,352人	13,782人	14,098人	(2019年度) 13,592人	○